

団体名： 小坂井商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考			
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等		
				指標	実績	達成率	指標	実績	達成率		総合評価	事業側評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標①
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業所を中心に経営指導員等商工会職員が事業所を訪問、または窓口において金融相談・税務相談・労働相談等経営全般について様々な相談に対応することにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業の育成をすることともに創業予定者をはじめとした経営全般に係る相談窓口の設置により経営改善に資する指導をする。	〔巡回窓口指導延件数〕530件 〔巡回窓口指導実企業〕244件 〔課題解決提案件数〕14件 〔巡回窓口指導実企業〕244件 〔経営革新承認件数〕0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 86.9 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 70.0 %)	事業者の必要時に専門家派遣を行い、内容の濃い経営支援ができた。また事業者においても知識の習得が図られた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 B 目標達成度	調査結果 事業者への 必要性	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	指導件数課題解決提案件数は本年も目標を上まわれなかった。会員増強を図り、指導延件数や課題解決提案などの件数目標は引き続き維持してゆきたい。
記帳継続指導	商工会契約税理士又は商工会職員が個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自主記帳や計数管理による経営力の向上に結びつける。	記帳継続指導、源泉所得税、決算・確定申告の指導の実施 〔指導対象事業所数〕54事業所 〔指導回数〕737回	小規模事業者	指標	指導対象事業所数 (達成度 103.8 %)	指標	(達成度 %)	記帳方法の指導、決算・確定申告の指導により適正な税務申告と計数管理による経営力向上につながった。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 B 目標達成度	調査結果 事業者への 必要性	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	引き続き、事業所のためになる指導をしてゆきたい。
講習会事業	多様化する経営資源に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融、税務、経理、労働、情報化等の知識習得や時事的な問題について啓蒙を図り、必要な講習会の提供と参加者の資質向上を目的とする。	講習会開催回数及び受講予定者数 【集団】 〔回数〕5回 〔受講予定者数〕45人 【個別】 〔回数〕11回 〔受講予定者数〕34人	小規模事業者	指標	講習会開催回数 (達成度 84.2 %)	指標	講習会参加者数 (達成度 72.5 %)	目標達成率は届いていないものの、事業者が高評価を得る講習会を開催することができた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 B 目標達成度	調査結果 事業者への 必要性	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 下げる	課題解決型対応事業などの活用により、よりタイムリーな課題の講習会を開催してゆきたい。
地域振興事業（地域振興まつり事業）	地域イベント「ごさかい葵まつり」を10月に開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域産業のPRの場を提供するとともに地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	ごさかい葵まつりの開催 〔出店事業所数〕43件 葵まつり実行委員会 〔会議〕4回開催	小規模事業者	指標	出店事業所数 (達成度 215.0 %)	指標	(達成度 %)	本年度もキッチンカー等の募集を行い、大幅に出店店舗が増えた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 A 目標達成度	調査結果 事業者への 必要性	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	キッチンカーの出店が大幅に増えたため、出店調整が悩ましい問題となっている。目標は現行を維持してゆきたい。
労働保険事業	事業主等の委託を受けて事業主に代わって労働保険料の申告納付に関する各種届出等の事業手続きを行うことにより小規模事業主等の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	〔委託事業所数〕57件	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 96.6 %)	指標	(達成度 %)	労働保険の適正な事務処理ができた。	総合評価	B	事業側評価	自己評価 B 目標達成度	調査結果 事業者への 必要性	満足度 B	補足 わずかながらの取扱事業所減となった。	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	間違いのない事務処理と迅速な対応を維持してゆきたい。
青年部女性部事業	青年部・女性部それぞれの事業を通じ、地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	【青年部】 〔事業参加者数〕546人 【女性部】 〔事業参加者数〕171人	小規模事業者	指標	事業参加者数 (達成度 149.4 %)	指標	(達成度 %)	本年度はおおむね事業を執行することができた一年であった。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 A 目標達成度	調査結果 事業者への 必要性	満足度 B	補足 本年度はおおむね事業を執行することができた一年であった。	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	青年部・女性部活動を通じて地域の発展に寄与してゆきたい。
福利厚生事業	小規模事業主等の経営・雇用の地蔵区的な安定を図るため各種共済制度の普及、健康診断事業の実施等により、事業所の健全な育成を目的とする。	中小企業共済、愛知火災共済等共済制度の普及推進 〔各種共済加入件数〕234件	小規模事業者	指標	各種共済加入件数 (達成度 95.5 %)	指標	(達成度 %)	共済件数は若干減少しているものの、比較的安定した件数を保持している。	総合評価	B	事業側評価	自己評価 B 目標達成度	調査結果 事業者への 必要性	満足度 B	補足 若干件数を減らしているが、事業主のためになる共済の推進をしてゆきたい。	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	小規模企業共済など、より事業主のためになる共済の推進をしてゆきたい。
部会・委員会事業	商業部会、工業部会が事業を行うことにより、参加企業の発展に寄与することを目的とする。	【商業部会】 商業関連事業の検討及び運営（会議、葵まつり大売出し） 〔参加企業数〕23件 【工業部会】 〔視察研修・部会事業参加企業数〕32件	小規模事業者	指標	参加企業数 (達成度 73.3 %)	指標	(達成度 %)	計画時より参加する企業数が減少した。商業部会事業である葵まつり大売出しでは前回より2店舗減少した。	総合評価	B	事業側評価	自己評価 B 目標達成度	調査結果 事業者への 必要性	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	内容の改善を行い、多くの事業所が参加しやすくしてゆきたい。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

団体名： 小坂井商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考					
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等						
経営強化事業 （エースクラブ事業）	新時代に即応した商工会活動への協力、ならびに地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	部員交流事業等の企画実施 商工会事業への参加協力 まつりへの運営協力 〔参加企業数〕 115名	小規模事業者	指標	参加企業数 (達成度 57.5 %)			指標	(達成度 %)			本年度は開催予定だった事業が、日程等の都合で開催できなかった事業があった。	総合評価	C	事業側評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	本年度は左記のとおり結果となったものの、引き続き、商工会活動への協力、地域商工業の発展にきよしてゆきたい。
				目標数値	200	実績数値	115	目標数値		実績数値						B		C	必要性	現行どおり	現行どおり	
若手後継者等育成事業	青年部員が事業を計画し、各種団体と調整をし、地域振興となるイベントを実施する。1から事業を作る難しさを各青年部員が経験し、今後の自社事業に役立てることが出来る。	地域振興青年部企画イベント 〔回数〕 1回 〔集客人数〕 2,000人 〔参加事業所満足度〕 100%	青年部員	指標	地域振興参加イベント参加人数 (達成度 400.0 %)			指標	参加事業所満足度 (達成度 125.0 %)			地域振興企画イベントは予想以上の反応で、多くの参加者を集めることができた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	次年度はイベントのほかに実践型セミナーを開催予定している。
				目標数値	500	実績数値	2000	目標数値	80%	実績数値	100%					A		A	必要性	現行どおり	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。